

復興 10 年フェニックスプロジェクト推進会議

7. 13 水害、中越大震災から 10 年を迎える節目の年に、市民の想いをひとつに、これまで復興に携わってきた関連団体と市が一体となって復興 10 年事業を進めるため、復興 10 年フェニックスプロジェクト推進会議を発足しました。

推進会議では、一体感あふれる本市の復興した姿を発信するため、復興 10 年事業の統一コンセプト、キャッチフレーズ、ロゴマークを決定し、一体的な情報発信に取り組むとともに、復興 10 年事業を一体となって推進するための連携及び連絡調整を行いました。

○キャッチフレーズ

「復興 10 年 たくましく前へ、長岡 ～そのさきの未来へ～」

○コンセプト

**亡くなられた方への「追悼」
全国からの支援に「感謝」
経験と教訓の「伝承」
復興した姿を全国へ「発信」**

○構成団体

- ① NPO 法人 復興支援ネットワーク・フェニックス
 - ② NPO 法人 中越防災フロンティア（山古志地域）
 - ③ NPO 法人 暮らしサポート越後川口（川口地域）
 - ④ NPO 法人 MTNサポート（小国地域）
 - ⑤ NPO 法人 フォーラム栃尾熱都（栃尾地域）
 - ⑥ NPO 法人 キズナの森（中之島地域）
 - ⑦ 三島ライトアップ実行委員会（三島地域）
 - ⑧ NPO 法人 多世代交流館になニーナ
 - ⑨ (公社)中越防災安全推進機構
 - ⑩ (公財)山の暮らし再生機構
 - ⑪ NPO 法人 国際ボランティア学生協会
 - ⑫ NPO 法人 市民協働ネットワーク長岡
 - ⑬ NPO 法人 ながおか未来創造ネットワーク
 - ⑭ 長岡商工会議所
 - ⑮ (一社)長岡青年会議所
 - ⑯ 長岡まつり協議会
 - ⑰ 長岡市シティプロモーション推進会議
 - ⑱ (公財)長岡市芸術文化振興財団
 - ⑲ 長岡市
- (順不同)

○ロゴマーク



**PHOENIX
PROJECT**

2度の戦禍及び災害から不死鳥の如く復興を果たしてきた長岡市民の強い想いが込められています。

○ロゴマーク、キャッチフレーズの使用

復興 10 年フェニックスプロジェクトのコンセプトに合致する事業であれば、営利・非営利を問わず、ロゴマークとキャッチフレーズを印刷物（チラシや名刺）やグッズなどにご利用いただきました。

(活用例は 21 ページをご覧ください。)

○復興10年フェニックスプロジェクト推進会議の開催

【第1回】

- 日時：平成26年4月24日（木）
午後1時～午後2時30分
- 会場：まちなかキャンパス長岡 301 会議室
- 内容：ロゴマーク・キャッチフレーズ発表
復興10年フェニックスプロジェクトの
事業概要について



【第2回】

- 日時：平成26年6月20日（金）
午後6時～午後7時
- 会場：長岡商工会議所 6階大会議室
- 内容：7. 13 水害関連事業について
花火プロモーションについて
中越大震災10周年復興の集いについて
情報発信の状況について



【第3回】

- 時期：平成26年10月17日（金）
午後3時～午後4時
- 会場：アオーレ長岡 市民交流ホールB・C
- 内容：10月23日の復興イベントについて
各団体の復興関連事業について



7. 13 水害関連事業

平成16年7月に発生した新潟・福島豪雨（7.13水害）は、長岡市中之島地域に大きな被害をもたらしました。

水害から10年、犠牲者への追悼と全国からの支援への感謝を込めて式典を開催しました。



刈谷田川決壊場所に近い'04（ラブフォー）中之島記念公園に献花台を設置し、黙とうをささげました。



中之島文化センターで開催された式典では、保育園児が祈りを込めて折った千羽鶴を献花台に手向けました。

また、現在高校1年生で当時中之島保育園の年長児だった代表3名が孤立した保育園から航空自衛隊のヘリコプターで救助されたことや全国からの支援に感謝の言葉を述べました。会場の入り口には中之島地区社会福祉協議会と地域の方々が丹精込めて育てたひまわりとペチュニアを色鮮やかに飾りました。



中之島文化センター内にも、市民献花台を設置し、多くの方々から献花をいただきました。また、地元NPO団体が主体となってEポートなどの展示や水害の教訓を伝える写真パネル展を開催しました。



7.13水害の発災後に国土交通省北陸地方整備局から依頼を受けて被災地調査を行った片田敏孝氏(現群馬大学大学院理工学府教授)を講師に招き、講演会を開催しました。



地元NPO団体が復興祈念として「キズナの森フェスタ」を開催したほか、復興祈願花火「ミニフェニックス」の打ち上げを行いました。



復興祈願花火フェニックス

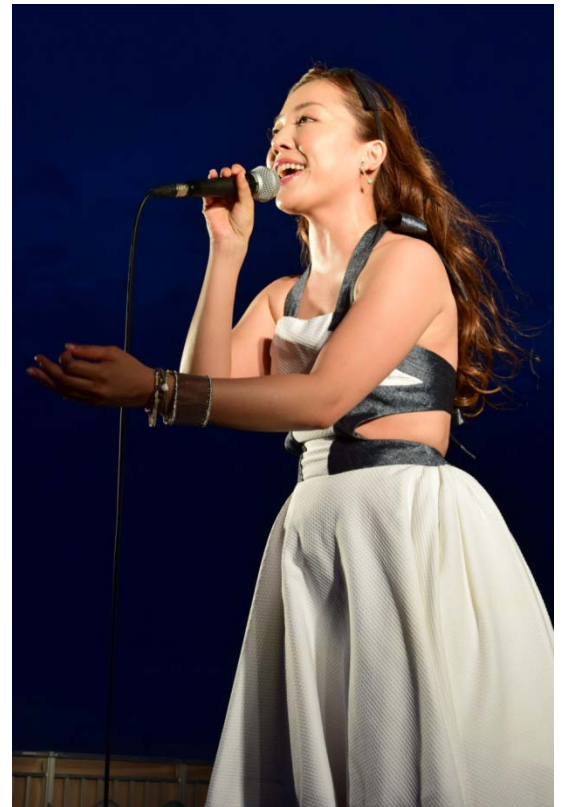
震災翌年から市民の力で打ち上げてきた「復興祈願花火フェニックス」は平成26年で10年目となりました。復興祈願と全国からの支援に対する感謝の想いを乗せた不死鳥「フェニックス10」が長岡から全国、そして全世界へと羽ばたきました。



長岡まつり協議会フェニックス部会
リバーサイド千秋 募金箱報告セレモニー



NPO 法人国際学生ボランティア協会 (IVUSA) が運営に協力。
8月4日の交流会には平原綾香さんも駆けつけてくださいました。



8月3日の午後7時、約50万人の観覧客が花火の打ち上げを待つ中、平原綾香さんが花火会場に登場し、復興祈願花火「フェニックス10」のBGM「Jupiter」を披露。

「復興祈願花火フェニックス記念誌 十年のキセキ」発行



▲教育委員会を通じ市内小中学校に寄贈しました。



フェニックス花火を打ち上げてきた10年の活動を振り返り、「復興祈願花火フェニックス」を育てていただいたすべての皆様への感謝と、これからも永きにわたりフェニックス花火が皆様の心に届くことを願い、この10年という大切な節目の年に、「復興祈願花火フェニックス記念誌 十年のキセキ」を発行しました。

◆Contents◆

1. 平原綾香さん特別インタビュー
「伝え続けるメッセージ、私たちはひとりじゃない」
2. フェニックスギャラリー
「フェニックス花火記録 10年のキセキ」
3. 「甦れ、不死鳥のごとく」
10.23 中越大震災・7.13 水害の記録と記憶

◆販売について◆

- * 販売日：平成26年10月23日
- * 販売場所：
まちなか情報交流館「まちこい」
(TEL：0258-36-2537)
まちなか観光プラザ
(TEL：0258-31-5202)
- * 仕様：A4版、本文109ページ
- * 定価：本体1,852円＋税

「復興祈願花火フェニックス」写真展を開催

(主催：(公社)中越防災安全推進機構)



復興祈願花火フェニックス DVD を発売



過去9年分のフェニックス花火や、平原綾香さんの「Jupiter」など3曲のミュージックビデオを収録した贅沢な1枚。お買い求めは、上記の販売場所にお問い合わせください。

新潟県中越大震災 10周年 復興の集い

新潟県中越大震災から10年、全村避難を余儀なくされた山古志地域、震央である川口地域を中心に、各地域で復興祈念事業を開催しました。山古志会場、川口会場、アオーレ長岡を映像で繋ぐ三元中継を実施し、越後長岡応援団のアーティストの方々が歌とメッセージを届けてくださいました。

また、発災時刻にあわせて黙とうを行いました。市内11地域で「白菊」花火を打ち上げ、市民が復興への想いをひとつにしました。

アオーレ長岡ナカドマでは、献花台を設置。市民団体による炊き出しや三島地域の竹あかりの展示を行いました。



復興を応援してきた越後長岡応援団の3人がコンサート



沢田知可子さんと川口小学校の児童が一緒に歌唱（川口公民館）



小林幸子さん（山古志体育館）



平原綾香さん（アオーレ長岡）



- ①山古志会場での子ども達によるメッセージと合唱
- ②三元中継で市長が各会場へメッセージ（写真は川口）
- ③三島地域での白菊。右側には長岡地域、左側には栃尾地域の白菊も。市内が慰霊の想いに包まれました。
- ④発災時刻にあわせ黙とう（アオーレ長岡ナカドマ）
- ⑤市民団体による炊き出し（アオーレ長岡ナカドマ）
- ⑥山古志地域では白菊にあわせバルーンリリース
- ⑦竹灯籠の点灯には太田小中学校の子ども達も参加
- ⑧ナカドマに飾られた復興の灯り（三島地域の竹灯籠）



東日本大震災被災地との交流・支援

全国からいただいた支援への感謝の気持ちと、東日本大震災被災地の復興への願いを込めて、復興の歩み続ける東日本大震災被災地との交流が生まれています。中越大震災から10年目の節目の年に、(公財)山の暮らし再生機構が支援する大槌町との交流など、市民レベルでの様々な交流が行われました。元気に復興した長岡の姿を見てもらい、震災以降歩んできた10年の経験を伝えることで、これからも被災地へ元気と勇気を届けます。



平成27年3月7日に開催された「古志の火まつり」を通じた山古志地域と大槌町との市民レベルによる交流(実施主体:山古志住民会議)は、今年で3年目となりました。

- ①向川原虎舞 風虎会の皆さんによる伝統芸能「虎舞」の披露
- ②震災復興の祈りを込めた「日本一のさいの神」点火式に大槌町の新成人も参加
- ③大槌町の生徒15名が古志の火まつりをはじめ、地域での民泊や農家レストランで地域の方々と交流し、やまこし復興交流館おらたると山古志地域の復興を学ぶ



- ④大槌町と山古志地域の若い世代同志が交流。復興の過程とコミュニティ再建等のノウハウを共有
- ⑤大槌町のホタテ養殖組合が8月2日、3日、長岡まつり昼行事に出店。山古志地域の特産品である「かぐらなんばん」を使ったソースを開発し、大槌町特産「ホタテ」とのコラボが実現
- ⑥NPO 法人@リアス NPO サポートセンター(岩手県釜石市)の要請を受け、東北復興の今を伝える「釜石・大槌復興カメラ写真展」を開催



中越大震災 10 年復興祈念・東日本大震災復興祈願祭 鼓童ハートビート・プロジェクト

鼓童と東北の歴史のある芸能団体を招聘し、アオーレ長岡で、鼓童と伝統的な東北芸能及び地元の子供たちの交流を通して、世代を超えて未来へ復興を発信する祭典を開催しました。



- アリーナ
鼓童 ワン・アース・ツアー 2014 永遠
東北芸能団体及び子ども達との共演
- 市民交流ホールA
東北芸能団体による復興祈願公演
- 市民交流ホールB・C
鼓童メンバーによる長岡の子ども達との
ワークショップ
- ナカドマ
東北おいしい博 2014 in アオーレ



東日本大震災被災地の特産品販売を通じた交流・支援



▲越後 R290 街道まつり（栃尾地域）
岩手県大槌町の特産品ホタテ等の販売や伝統芸能の紹介を通して、同町等と交流を図っています。

▲復興応援！女川さんま祭り（市民防災公園）
宮城県女川町の復興支援のため、女川町と長岡の食や文化の共演を通じた交流を図っています。